

今月の記事

ギャラリー

ひまわり会

社協ボランティア

管理栄養士

今月の愛の園



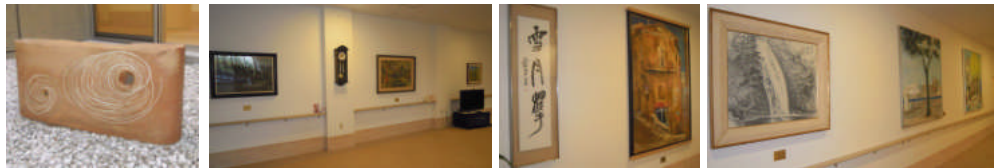
愛の園ギャラリーへようこそ

愛の園の館内では、あちこちに絵、書、写真などが飾られています。プロ・アマを問わずオリジナル作品が数多くあり、額装にも心遣いをいただいた作品は、大部分が作者や所縁の方々からご寄贈いただいたものです。

愛の園の建物を設計された和歌山大学の本多友常教授は、「多くの方が心地よさと清潔感を感じられるよう壁面には色を使いませんが、その分、色彩豊かな家具や掲示物で彩りを添えて、入居者の皆さんに和んでいただけるように配慮してください」と言われています。

現在、約30点の油絵、書、水墨画、版画、写真、作陶などが1階を中心に展示され、作品名と作者名がわかる作品には銘版を添えてご案内しています。天井の高いロビーや廊下には大き目の作品を展示していますが、今後は11あるユニット内にも小品を飾っていただければ願っています。厚かましいお願いで恐縮ですが、これからもご芳志をお寄せいただければ幸いです。

これまでご寄贈いただいた皆様に改めて感謝を申し上げますと共に、愛の園を訪れる多くの皆さんにぜひご鑑賞いただきたくご紹介いたしました。



2月3日、今年も節分の豆まきで鬼を追い払い、たくさんのお福を招き入れました

集いのご紹介 ひまわり会

愛の園では毎月第3火曜日の午前9時30分から1時間程度、1階ホールで「ひまわり会」が開催されており、入居者の皆さんが集われています。

ひまわり会は園長と生活相談員が担当し、入居者の皆さんが快適な生活を送ることが出来るようお願い、入居者の皆さんと施設・職員との大切な意見交換や情報提供の場としています。また、入居者の皆さん同士のユニットを越えた貴重な交流の場でもあります。

生活相談員が「何かお困り事はありますか?」、「お食事はきちんと召し上がっていただけていますか?」、「何処かお出かけしたい所はありませんか?」などの質問をさせていただき、お答えいただいたご意見・ご要望は介護職員にも伝わるようケース記録に記載され、ケアプランにも反映されています。

意見交換だけでなく、お集まりいただい

た皆さんに楽しく過ごしていただけるよう心掛けています。毎回得意な歌を披露して下さる方もいらっしゃいます。園長のギター伴奏で季節の歌を合唱したり、懐かしい出来事や故郷のことなどを語り合ったりしています。

現在は毎回15名程度の参加ですが、今後も多くの入居者の皆さんに参加していただけるよう内容を工夫し、この会を継続させていきたいと考えています。ご家族、ボランティアの皆様も機会がありましたら是非1度ご見学くださいませようお待ちしております。





支えてくださる人々 上富田町社協ボランティア



ガーゼたたみ(上)と清拭布作り(右)をしてくださるボランティアの皆さん

愛の園には毎月第2木曜日に、上富田町社会福祉協議会からボランティアの方々が来てくださり、玄関扉やガラス窓の掃除、ガーゼたたみ、清拭用の布切りなど様々にご奉仕くださっています。

上富田町社協の担当職員の方へ向うと、現在約200名の方々がボランティアとして参加し、町内地区ごとの13のグループに分かれて、それぞれ担当する近隣の老人ホームや障がい者施設に訪問しボランティア活動を行っているそうです。

話は少し変わりますが、2000年に改正された社会福祉法において、「地域福祉の推進」が社会福祉の新たな目的・理念として掲げられました。地域に密着したボランティア活動の推進が福祉サービスと福祉活動の基本理念として法定化されたとも言え、福祉活動においてボランティアはと

ても大切な役割を持ってきています。

高齢社会となった現在、一人暮らしの高齢者も多くなっているからこそ、それぞれの地域でのボランティア活動がいかに大切であるかを考えさせられる気がします。

「ボランティア活動を通して上富田町を暖かく思いやりのある町にしよう!」をテーマに上富田町社会福祉協議会ボランティアの皆さんは活動されています。

上富田町社協ボランティアの皆さんの今後の益々のご活躍をお祈りいたします。



私の仕事(4) 管理栄養士 栗栖いずみ



私が愛の園にお世話になってから、18年が経ちます。その間、介護保険制度の導入、栄養ケア・マネジメントへの取り組み、愛の園の移転、ユニットケアへの取り組み、ゼリー食への取り組みなど色々なことがありましたが、食事の基本は、『おいしく、楽しく食べる』ことだと思っています。

病気などのための食事制限は必要ですが、特別養護老人ホームは病院ではなく入居者の皆さんにとってはここが家ですので、『無理なく、おいしく、楽しく食べられる食事』を提供したいと思っています。量をたくさん食べられない方には栄養補助食品などを提供していますが、それも出来るだけ『おいしく、食べやすい物』と考え、自分が食べたり飲んだりしておいしいと感じたものを提供するようにしています。

現在愛の園には90名の入居者がおられます。日々の仕事に追われる中、90名の入居者1人1人の身体状況や病状に合った食事形態、食事量の把握など難しいことも多くありますが、ケアワーカー、看護師、ケアマネジャー、調理職員など、色々な職種の職員と連携しながら務めています。

入居者の皆さんにとって食べるという事は一番の楽しみだと思いますので、これからも『おいしく、楽しい食事作り』を心掛けて行きたいと思っています。



食べやすく作られたゼリー食の御節料理

「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。

Web サイトアドレス:

<http://shinai.or.jp>

2～3月の愛の園

13日	日曜礼拝・ヨネクラ玩具
15火	ひまわり会
16水	手芸サークル
17木	やまびこ会
20日	日曜礼拝・おめかし倶楽部
22火	マリア会
24木	やまびこ会
25金	サクソフォンコンサート
27日	日曜礼拝
3木	やまびこ会
6日	日曜礼拝
8火	マリア会
10木	やまびこ会

編集者から

今回、記事の中で上富田町社協のボランティア活動を紹介させていただきました。

こうしたボランティア活動は社協だけではなく様々な場所で行われています。もちろん愛の園も毎日の様に喫茶ボランティアや入居者の皆さんと合唱するやまびこ会、傾聴ボランティアなどの沢山のボランティア活動に支えられています。

愛の園でのボランティア活動に興味がある方は是非一度ご見学ください。ボランティアの受け入れは生活相談員が担当しています。ご見学の際は事前にご連絡いただけますようお願いいたします。(C)